

# 令和7年度 学校評価票

北海道北見緑陵高等学校

## 令和7年度の重点目標

- (1) 育成すべき8つの資質・能力を踏まえ、教科等横断的な視点で教育内容を組み立て、教育課程を実施する
- (2) 各教科の役割を明確にしながら授業改善を推進し、学習の基盤となる3つの資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力）
- (3) 生徒理解の深化を基盤とした生徒指導を推進し、生徒の心理的安全性を確保しながら、自己指導能力を育成する
- (4) 保護者等と連携した進路指導を推進するとともに、キャリア教育を充実させ、自己実現を図る生徒を育成する
- (5) 働き方改革を推進し、教育の質向上と持続可能な学校づくりを実現する

【学校関係者評価】  
 A：適切  
 B：ほぼ適切  
 C：やや不適切  
 D：不適切

【内部評価】本校教職員による評価については、各々A～Dで示した。  
 A：十分である      B：おおむね十分である      C：やや不十分である  
 D：不十分である

評価対象	評価項目		自己評価		学校関係者評価
			達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ
教育目標 経営方針	1	本校の教育目標は、生徒や保護者・地域の方々の実態を踏まえたものか	B	1 学校評価アンケートの適切な活用と情報発信・収集の充実	B
	2	学校の教育目標や経営方針を具現化するという意識のもと日常の教育活動が行われているか	B	2 学校課題の共有と協働による教育活動の推進	
	3	生徒・保護者・地域の期待に応え、夢を叶える事ができる活力と魅力にあふれる学校であるか	B	3 学校評価の結果を適切に活用した教育活動の工夫・改善	
	4	伝統を継承しつつ改革を目指す、「地域とともにある学校」であるか（地域との連携・協働）	B	4 授業・教育活動の一層の公開 特色ある学校づくりの推進	
ご意見・ご要望					
学習指導	5	本校の特色を明確にする教育課程の工夫や見直しを検討したか	B	5 本校の特色を明確にする教育課程の見直しと検討	B
	6	生徒の学習習慣の定着に向けて、家庭学習と授業を関連付けるなど、工夫して取り組むことができたか	C	6 学習習慣づけの具体的な方策の検討・実施	
	7	授業公開の実施と興味関心を持たせる指導が授業で実施されたか	B	7 授業公開週間の継続。内容の充実を図る教務部主導による授業改善研修の充実	
	8	授業評価の結果を分析し、授業改善に向けた研修を行うことができたか	B	8 適切な分析結果の提供と授業改善に向けた組織的な取組の充実	
	9	学ぶ意義を理解させ、興味関心を引き出す授業づくりを進めることで、生徒の学習意欲を喚起することができたか	B	9 「学ぶ意義」を理解させる取組の具体的な方策の検討と組織的な取組の充実	
ご意見・ご要望					
生徒指導	10	（学校祭等の）生徒会行事について、生徒が主体的に企画・立案し、参加することができたか	B	10 生徒会行事はもちろん生徒自身の係る課題についての生徒会・クラス討議の充実	B
	11	教育相談を必要とする生徒への対応方法を検討・確立できたか	B	11 教育相談・特別支援委員会の一層の充実と全職員による情報の共有化の推進	
	12	好ましい人間関係の構築に向けて、生徒が自らの役割を果たし相互に協力する場面や機会を設定できたか	B	12 生徒理解ツール（Hyper Q-U）の有効活用と良好な対人関係構築に向けた支援の充実	
	13	生徒の多様な学びの場としての望ましい部活動指導を行うことができたか。	B	13 生徒減に伴う効果的な部活動の在り方の検討	
ご意見・ご要望					
進路指導	14	進路講話の活用やインターンシップの取組等を通じて、キャリア教育の充実を図れたか	B	14 インターンシップ等の体験的活動の推進と3年間を見通したキャリア教育の充実	A
	15	進路調査、進路相談が卒業後の将来を展望する支援・指導になっていたか	B	15 三者面談の実施と家庭との連携の強化	
	16	卒業後の進路決定に関して、保護者との連携が十分行われていたか	B	16 1、2年生向け保護者進路説明会の充実と継続的な情報提供の推進	
	17	進学推薦や就職生徒への面接指導体制を学年団と協議し改善できたか	B	17 全教職員による面接指導の実施と指導法の改善・工夫	
	18	講習受講者の志望校、難関校の合格状況等の情報を職員で共有化できたか	B	18 情報の共有化の工夫・改善	
ご意見・ご要望					

健康安全指導	19	感染症予防への対応及び生徒への健康指導は適切であったか	B	19 日常的な健康管理の啓発	A
	20	避難訓練や一日防災学校等を通じて、生徒や教職員の防災意識を高めることができたか	B	20 避難訓練（一日防災学校）の実施と内容の工夫・改善	
	21	支援を必要とする生徒情報を関係機関と共有し、早期の対応に努めたか	B	21 特別支援に関する研修の継続と専門家・関係機関との連携の強化	
	22	保健だよりの発行や電話連絡等により、家庭や関係機関等との連携が十分行われていたか	B	22 保健だよりによる啓発の推進と保護者とのより一層の連携の強化	
ご意見・ご要望					
評価分野	評価項目		自己評価		学校関係者評価
			達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ
信頼される学校づくり	23	生徒・保護者への緊急連絡や中学生・卒業生への情報提供など、学校HPの更新と発信は十分であったか	C	23 複数の担当者によるHPの適切な更新と積極的な活用	B
	24	地域や保護者の意見を傾聴し、要望や依頼に丁寧に対応したか	B	24 傾聴と丁寧な対応の継続と保護者アンケートによる学校課題の把握	
	25	地域社会や小中学校との連携・協働は十分であったか	B	25 ・地域ボランティア活動の推進 ・異校種交流の活性化の推進	
	26	前年度の学校評価の結果を踏まえた教育活動の工夫・改善がなされたか	B	26 適切な学校評価項目の設定と学校評価の結果を生かす教育活動の工夫・改善	
	27	保護者との懇談の機会が各学年で設定されたか	B	27 学年懇談会や面談機会の設定の充実による保護者との連携の強化	
ご意見・ご要望					
組織運営	28	教職員の意志が疎通し、風通しの良い職場となっていたか	B	28 学校課題等の情報共有と教職員相互の意志疎通の強化と報告・連絡・相談の徹底	B
	29	業務分担や学校運営がなされたか	B	29 学校課題解決に向けた分掌業務の重点化と効率的で協働による業務の実施	
	30	働き方改革の視点から、業務の効率化に取り組むことができたか	B	30 学校課題の共有と協働による組織的な学校運営の推進	
	31	職員会議は、発言しやすく創造的な意見調整の機能を果たしていたか	B	31 前例踏襲によらない立案・実施と会議資料の事前配布	
	32	学校課題、生徒情報、危機管理の情報は共有され、管理職による適切な指導・助言が行われていたか	B	32 正確な情報の把握に努め今後の教育の動向を踏まえた適切な指導・助言の実施とそれに向けた研修の実施	
ご意見・ご要望					
教職員の資質向上	33	授業評価の結果が活用され、分かる授業を生徒に提供できたか	B	33 生徒による授業評価の分析・活用による適切な授業改善の実施	A
	34	新たな研修制度の趣旨を踏まえ、積極的に研修に参加できたか、又は自ら研修を行ったか	B	34 教育のプロとしての自覚と絶えず研修に励む姿勢の更なる充実	
	35	教育公務員としての自覚を持ち、不祥事を防ぐ意識を持ったか	B	35 教育公務員としてのより一層の自覚と服務規律を遵守する意識の徹底	
	36	観点別学習評価に対する理解を深め、適切な学習評価を実施することができたか（学習指導の項目に移動）	B	36 効果的な活用や評価基準の作成に向けた研修の充実	
	37	服務規律の保持に関する情報提供が適宜行われ、事故や不祥事の未然防止に努めることができたか	A	37 服務違反事例の効果的な活用と教員相互による日常的な声かけ	
ご意見・ご要望					
いじめの問題	38	いじめの未然防止に向けた取組は十分であったか	B	38 毎月の「いじめ確認の日」の有効活用と積極的（予防的）な生徒指導の充実	B
	39	いじめの早期発見（アンケート・日常的な観察）の取組は十分であったか	B	39 個人面談・教育相談の充実と日常的な生徒観察と情報共有の継続	
	40	いじめの発生に対して、組織的に迅速な対応を取ることができたか	B	40 いじめ防止対策委員会による組織的な取組の強化	
	41	地域、保護者とともに、いじめの根絶に向けた取組をしているか	B	41 保護者および関係機関との連携の強化	
ご意見・ご要望					
今後の緑綾高校の在り方	・ 校訓の通り、生緒が常に前向きで活気のある自己磨きができる学校を望みたい。				